

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★☆☆☆
単元	詩を読む				
課題	<p>次の詩を音読してみよう。</p> <p>あふれてゐる あふれてゐる あふれてゐる (い)</p> <p>小さな川々 (かわがわ)まで (い)</p> <p>春は</p> <p>たつぷりと (たつぷり)</p> <p>山村暮鳥 (ぼ)鳥(ちょう)</p> <p>春の河 (かわ)</p>				
課題の説明	「春の河」を繰り返し音読（声に出して読むこと）してみよう。繰り返し音読することで、「う～む、これはどういうことだ。」と思えたら最高です。				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	詩を読む				
課題	<p>次の詩の気になることをノートに書いていこう。</p> <p>あふれてゐる あふれてゐる あふれてゐる (い)</p> <p>小さな川々 (かわがわ)まで (い)</p> <p>春は</p> <p>たつぷりと (たつぷり)</p> <p>山村暮鳥 (ぼ)鳥(ちょう)</p> <p>春の河 (かわ)</p>				
課題の説明	<p>読んでみて、どういうことなのか分からない、なぜなんだろうと思ったことをノートに書いてみよう。</p> <p>「山村暮鳥」は作者名です。</p>				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	詩を読む				
課題	次の詩のタイトル「春の河」とはどのような景色でしようか。絵に描いてみよう。				
	<p style="text-align: center;"> <small>春の河</small><small>(かわ)</small> <small>山村暮</small><small>(ぼ)</small><small>鳥</small><small>(ちよう)</small> <small>(たつぷり)</small> <small>たつぷりと</small> <small>春は</small> <small>小さな川々</small><small>(かわがわ)</small><small>まで</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> <small>あふれてゐる</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> </p>				
課題の説明	「春の河」の「春」とはどのような景色か、「河」とはどのような河なのかを考えながら、絵にしてみよう。				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★★★☆
単元	詩を読む				
課題	次の詩の「あふれてゐる」と繰り返されているのはなぜか考えてみよう。				
	<p style="text-align: center;"> <small>春の河</small><small>(かわ)</small> <small>山村暮</small><small>(ぼ)</small><small>鳥</small><small>(ちよう)</small> <small>(たつぷり)</small> <small>たつぷりと</small> <small>春は</small> <small>小さな川々</small><small>(かわがわ)</small><small>まで</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> <small>あふれてゐる</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> </p>				
課題の説明	作者「山村暮鳥」がなぜ「あふれてゐる」を繰り返したのか、どのような考えがあったのかを考えよう。				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★★★
単元	詩を読む				
課題	<p>皆さんが、最近よく聴いている音楽の歌詞を読んでみて、「繰り返し」のある歌詞を探してください。</p> <p>その見つけた「繰り返し」にはどのような意味があるのか考えてみよう。</p>				
課題の説明	<p>皆さんがよく聴いている音楽の歌詞の中にも、「繰り返し」が使われています。「※」マークで記述が省略されている場合もあります。</p> <p>その、「繰り返し」にはどのような意味があるのかを考えてみてください。</p>				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★★★
単元	詩を読む				
課題	「繰り返し」を使って、詩を作ってみよう。				
課題の説明	<p>詩では、「繰り返し」という表現の技法（よりよくする方法）がしばしば使われます。</p> <p>「繰り返し」の表現を使って詩を作ってみよう。</p>				